

## 第2章 地域の概要



## 第2章 地域の概要

### 1 位置と地勢

本市は、香川県の東部に位置し、南東は東西に連なる阿讃山脈によって徳島県に接し、西はさぬき市に隣接している。北東は国立公園瀬戸内海播磨灘に臨み、高松市と徳島市のほぼ中間に位置する自然環境に恵まれた地域である。また、瀬戸内海に注ぐ馬宿川、小海川、新川、湊川、与田川、番屋川などの流域に平野部が開け、市街地と田園地域を形成している。

表 2-1-1 東かがわ市の概要

位置	東西	約21.6km
	南北	約13.4km
	面積※	152.83km <sup>2</sup>
東かがわ市役所の位置	香川県東かがわ市湊1847番地 1	

※令和2年度全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）



資料：「地理院地図データ」（国土地理院）を基に作成

図 2-1-1 市位置図

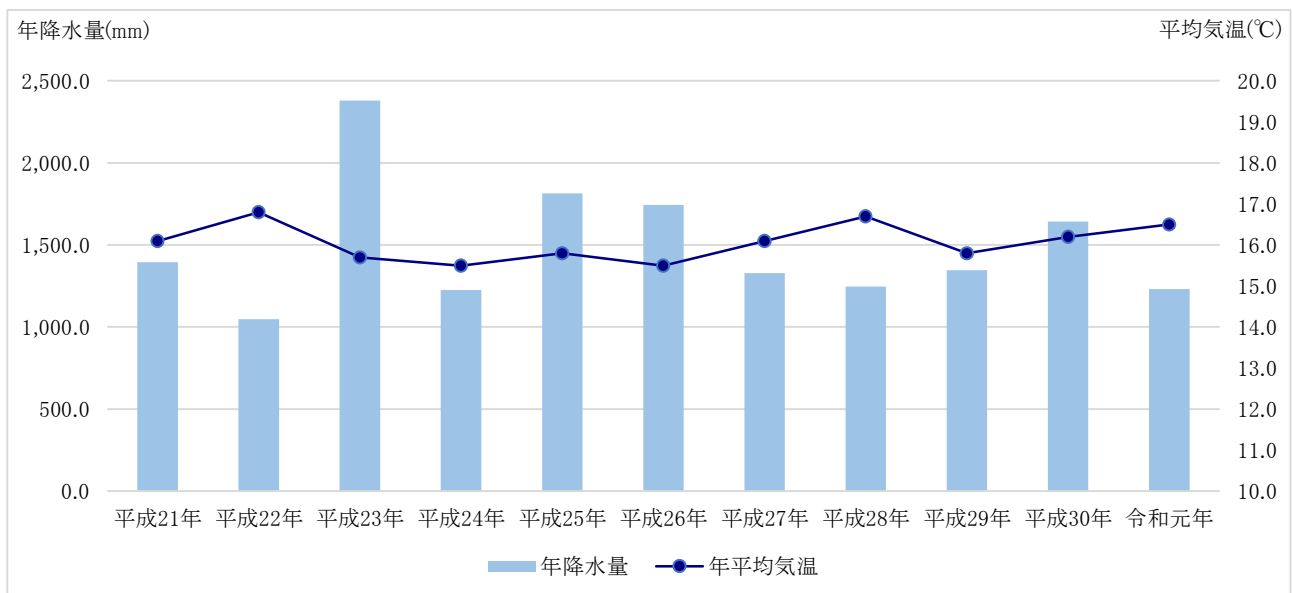
## 2 気象

本市における過去 11 年間の気象概要を表 2-2-1 に、年平均気温及び年降水量の推移を図 2-2-1 に、月別平均降水量・平均気温を図 2-2-2 示す。本市の気候は、過去 11 年間の平均気温 16.1℃と温暖な気候に恵まれている。

表 2-2-1 気象概要

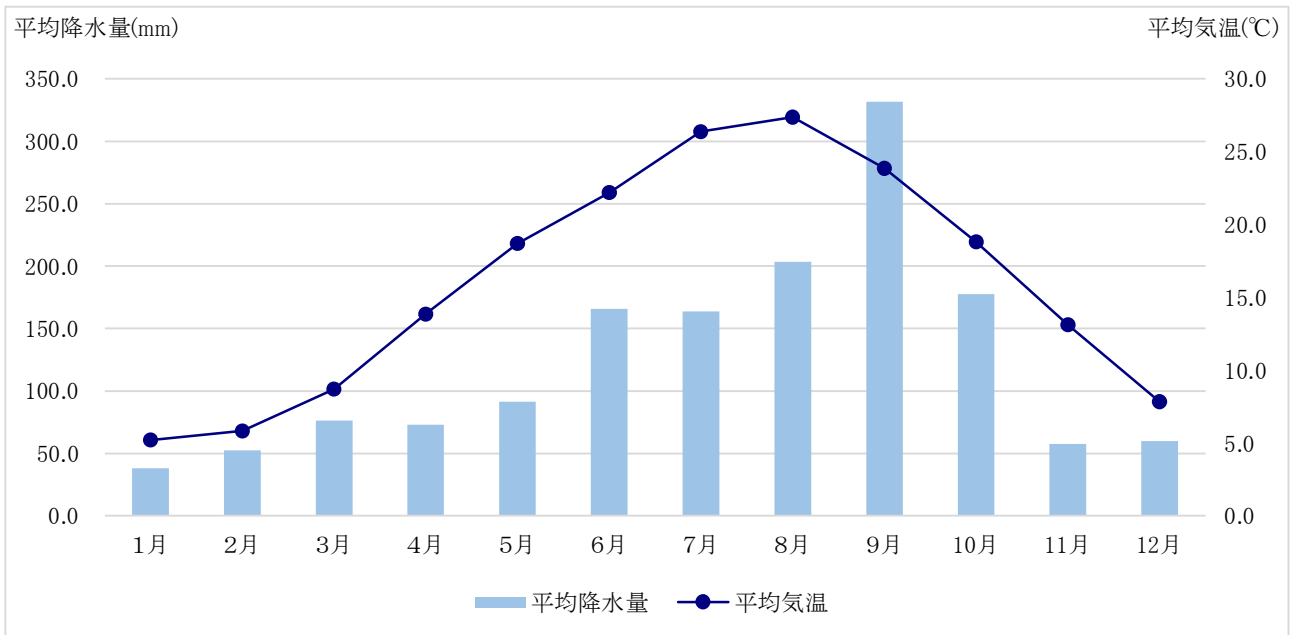
	年平均気温 (℃)	日最高平均 気温 (℃)	日最低平均 気温 (℃)	年降水量 (mm)
平成21年	16.1	20.2	12.2	1,394.5
平成22年	16.8	21.0	13.0	1,046.5
平成23年	15.7	19.9	11.9	2,378.0
平成24年	15.5	19.7	11.8	1,225.5
平成25年	15.8	20.4	11.8	1,814.0
平成26年	15.5	19.7	11.8	1,744.5
平成27年	16.1	20.1	12.4	1,327.0
平成28年	16.7	20.9	13.0	1,246.5
平成29年	15.8	20.0	12.0	1,345.0
平成30年	16.2	20.4	12.4	1,642.0
令和元年	16.5	20.7	12.8	1,232.0
平均値	16.1	20.3	12.3	1,490.5

資料：気象庁（引田観測所）



資料：気象庁（引田観測所）

図 2-2-1 年平均気温及び年降水量の推移



資料：気象庁（引田観測所）

図 2-2-2 月別平均降水量・平均気温

### 3 水象

#### 1) 河川

本市では、主に馬宿川、小海川、新川、湊川、与田川、番屋川が瀬戸内海に注いでいる。また、馬宿川、湊川、与田川には各流域の治水安全度の向上や、農業用水の補給、新たな水道水源を確保することを目的としたダムがある。

主な河川の位置を図 2-3-1 に示す。

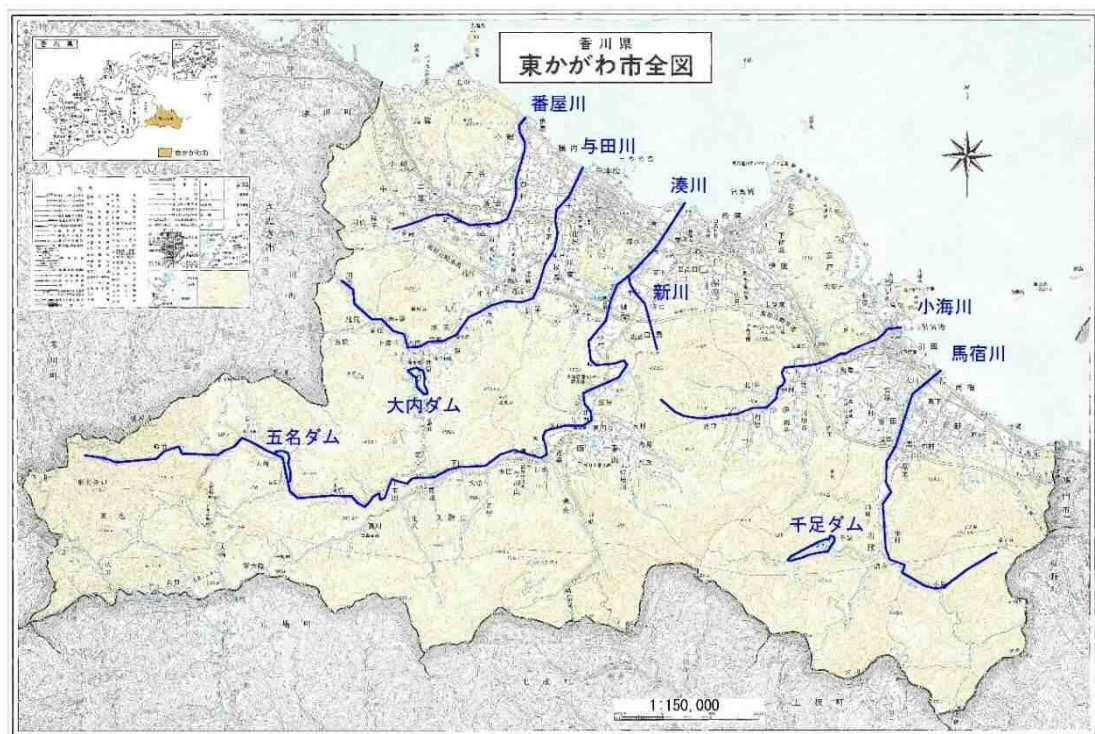


図 2-3-1 主な河川の位置

#### 2) 水環境、水質保全に関する状況

本市域に流れる河川の水環境基準達成状況を表 2-3-1 に示す。平成 23 年度時点では、湊川の BOD が環境基準を達成していなかったが、平成 30 年度時点では、全て環境基準を達成している。

表 2-3-1 河川の水環境基準達成状況

水域名	基準点	類型	平成 23 年度		平成 30 年度	
			達成状況	BOD年間平均値(mg/L)	達成状況	BOD年間平均値(mg/L)
馬宿川	川渕橋	A	○	1.0	○	0.6
湊川	湊川橋	A	×	1.5	○	1.1
与田川	三本松橋下	A	○	1.1	○	0.7
番屋川	番屋川大橋	C	○	2.0	○	1.9

出典：香川県 平成 23 年度、平成 30 年度公共用水域水質測定結果

#### 4 歴史・沿革

明治期までは大部分の地域が大内郡と呼ばれてきた。

平成 15 年 4 月 1 日に引田町、白鳥町、大内町の 3 町が合併し東かがわ市が誕生した。

#### 5 人口

本市の人口及び世帯数の推移を表 2-5-1 及び図 2-5-1 に示す。本市の人口はやや減少傾向にある。また、1 世帯当たりの人数も減少傾向にある。令和 2 年 3 月 31 日現在、本市の人口は 30,048 人、世帯数は 13,833 世帯となっている。

表 2-5-1 人口及び世帯数の推移

区分/年度	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元
人口(人)	35,101	34,662	34,243	33,968	33,368	32,778	32,218	31,788	31,258	30,653	30,048
世帯数(世帯)	13,868	13,913	13,999	14,148	14,130	14,082	14,027	14,026	13,964	13,883	13,833
1世帯当たりの人数(人)	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2

資料：住民基本台帳（各年度 3 月 31 日現在）

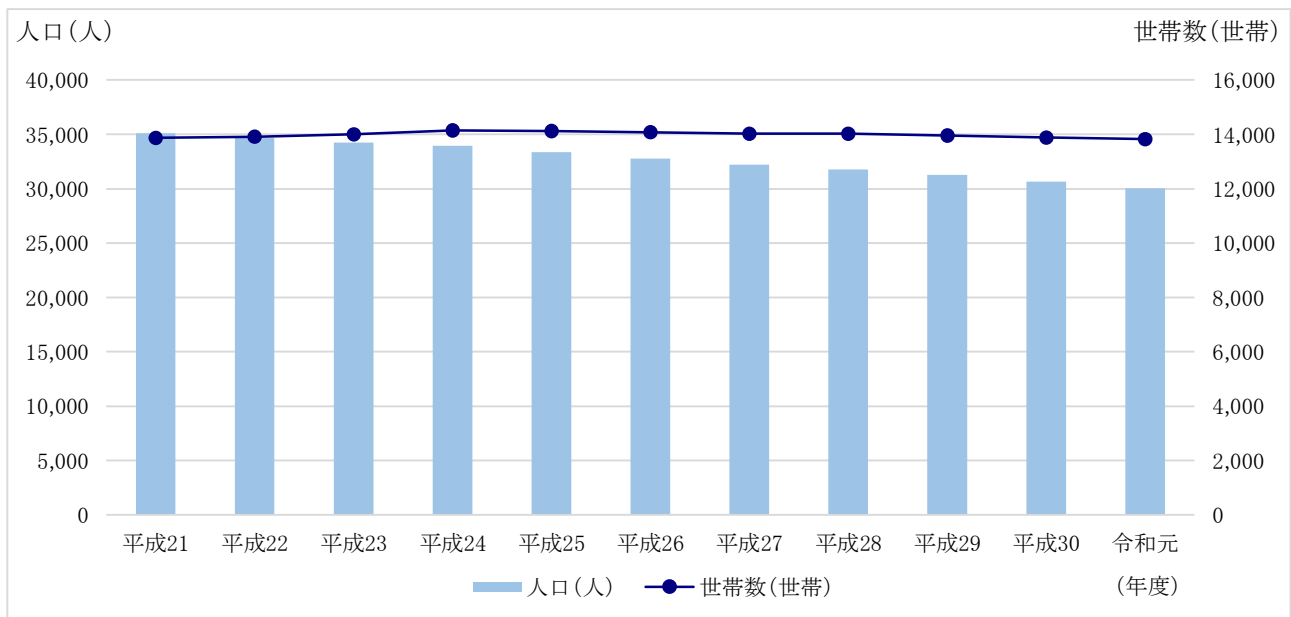


図 2-5-1 人口及び世帯数の推移

男女別の人口の推移を表 2-5-2 に、年齢（3 区分）別人口の推移を表 2-5-3 に、年齢（3 区分）別人口割合の推移を表 2-5-4 に示す。本市の男女別人口については、男性人口より女性人口の方がやや多く、男女共に減少傾向にある。一方、年齢（3 区分）別人口割合については、65 歳未満の人口が減少しており、少子高齢化の傾向にある。

表 2-5-2 男女別人口の推移

単位：人

	総計		
		男	女
平成 21 年度	35,101	16,709	18,391
平成 22 年度	34,662	16,502	18,160
平成 23 年度	34,243	16,296	17,947
平成 24 年度	33,968	16,156	17,812
平成 25 年度	33,368	15,852	17,516
平成 26 年度	32,778	15,589	17,189
平成 27 年度	32,218	15,341	16,877
平成 28 年度	31,788	15,128	16,660
平成 29 年度	31,258	14,880	16,378
平成 30 年度	30,653	14,577	16,076
令和元年度	30,048	14,251	15,797

資料：住民基本台帳（各年度 3 月 31 日現在）

表 2-5-3 年齢（3 区分）別人口の推移

単位：人

	年齢（3 区分）別人口			
	総計	15 歳未満	15～64 歳	65 歳以上
平成 21 年度	35,101	3,661	19,865	11,575
平成 22 年度	34,662	3,559	19,600	11,503
平成 23 年度	34,243	3,449	19,132	11,662
平成 24 年度	33,968	3,352	18,618	11,998
平成 25 年度	33,368	3,200	17,882	12,286
平成 26 年度	32,778	3,067	17,216	12,495
平成 27 年度	32,218	2,925	16,759	12,534
平成 28 年度	31,788	2,845	16,326	12,617
平成 29 年度	31,258	2,758	15,857	12,643
平成 30 年度	30,653	2,687	15,350	12,616
令和元年度	30,048	2,550	14,945	12,553

資料：住民基本台帳（各年度 3 月 31 日現在）



表 2-5-4 年齢（3区分）別人口割合の推移

単位：%

	年齢（3区分）別人口割合		
	15歳未満	15～64歳	65歳以上
平成21年度	10.4	56.6	33.0
平成22年度	10.3	56.5	33.2
平成23年度	10.1	55.9	34.1
平成24年度	9.9	54.8	35.3
平成25年度	9.6	53.6	36.8
平成26年度	9.4	52.5	38.1
平成27年度	9.1	52.0	38.9
平成28年度	8.9	51.4	39.7
平成29年度	8.8	50.7	40.5
平成30年度	8.8	50.1	41.1
令和元年度	8.5	49.7	41.8

資料：住民基本台帳（各年度3月31日現在）

## 6 産業

### 1) 産業別人口

本市における産業大分類別就業者数を表 2-6-1 及び図 2-6-1 に示す。平成 22 年及び平成 27 年 10 月現在の産業大分類別就業者割合は、第 3 次産業が 54.4%であり最も多い。

表 2-6-1 産業大分類別就業者数

単位：人、%

		平成22年		平成27年	
			香川県		香川県
総	数	15,751	462,418	14,627	452,644
第 1 次 産 業		1,430	26,464	1,277	23,823
	農 業	1,161	23,819	1,056	21,698
	林 業	37	253	25	241
	漁 業	232	2,392	196	1,884
第 2 次 産 業		5,623	115,035	5,263	113,711
	鉱 業	-	261	2	211
	建 設 業	1,133	37,074	975	34,868
	製 造 業	4,490	77,700	4,286	78,632
第 3 次 産 業		8,416	309,774	7,820	301,401
	電 気	37	3,110	26	3,127
	情 報 通 信	0	6,611	78	6,504
	運 輸	694	24,365	569	22,837
	卸 売 ・ 小 売	2,376	83,887	1,966	72,848
	金 融	256	11,800	229	11,030
	不 動 産	75	6,557	79	6,970
	飲 食 店 ・ 宿 泊	650	24,789	606	22,894
	教 育 ・ 学 習 支 援	515	20,722	485	21,119
	医 療 ・ 福 祉	1,791	54,985	1,911	61,011
	複 合 サ ー ビ ス 業	192	4,284	230	5,346
	そ の 他 の サ ー ビ ス 業	1,379	51,460	1,224	49,939
	公 務	451	17,204	417	17,776
分 類 不 能	282	11,145	267	13,709	
就業者割合	第1次産業	9.2	5.9	8.9	5.4
	第2次産業	36.4	25.5	36.7	25.9
	第3次産業	54.4	68.6	54.4	68.7

資料：国勢調査（10月1日現在）

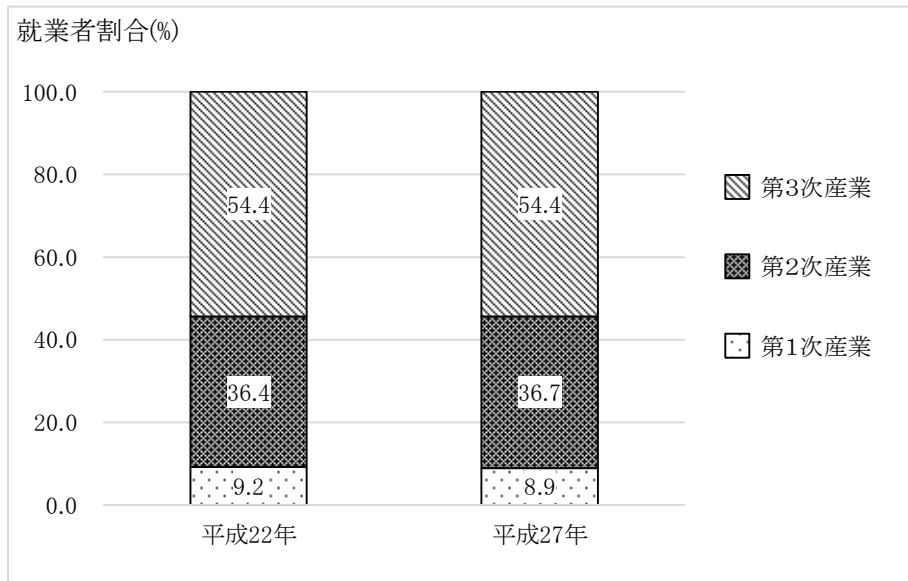


図 2-6-1 産業大分類別就業者割合

## 2) 農業

本市の農業は、パセリ及びさとうきびの生産が盛んである。

地区別の農家数、農家人口及び経営耕地面積を表 2-6-2 に示す。平成 27 年 2 月現在、本市における農家数は 1,586 戸、農家人口は 3,352 人、経営耕地面積は 1,033ha となっており、平成 22 年度から減少傾向にある。

家畜の飼養頭羽数の状況を表 2-6-3 に示す。平成 27 年 2 月現在、本市における乳用牛飼養頭数は 174 頭、肉用牛飼養頭数は 146 頭、採卵鶏飼養羽数は 134,500 羽となっており、飼養頭数が減少傾向にある。

表 2-6-2 農家数、農家人口及び経営耕地面積

	農家数 (戸)	農家人口 (人)	経営耕地面積			
			総数 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)
平成 22 年	1,816	4,455	1,137	1,069	57	10
平成 27 年	1,586	3,352	1,033	986	41	0.6

資料：農林業センサス（各年 2 月 1 日現在）

表 2-6-3 家畜の飼養頭羽数の状況

	乳用牛 飼養頭数 (頭)	肉用牛 飼養頭数 (頭)	豚 飼養頭数 (頭)	採卵鶏 飼養羽数 (羽)	ブロイラー 出荷羽数 (羽)
平成 22 年	180	260	-	185,300	-
平成 27 年	174	146	-	134,500	3

資料：農林業センサス（各年 2 月 1 日現在）

### 3) 工業

本市における事業所数、従業者数及び製造品出荷額等を表 2-6-4 に示す。平成 30 年 12 月現在、事業所数は 87 事業所となっている。

表 2-6-4 事業所数、従業者数及び製造品出荷額等

	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
平成 20 年	147	4,191	12,005,119
平成 21 年	132	3,940	9,507,479
平成 22 年	122	4,049	11,016,754
平成 23 年	116	3,714	10,199,957
平成 24 年	115	4,091	11,334,492
平成 25 年	109	4,102	10,903,634
平成 26 年	100	4,093	10,826,375
平成 28 年	108	3,991	12,761,922
平成 29 年	90	3,717	11,821,727
平成 30 年	87	3,786	12,218,610

※資料：工業統計調査 各年 12 月 31 日現在（平成 23 年除く）

※資料：経済センサス 平成 23 年は平成 24 年 2 月 1 日現在

### 4) 商業

本市における商業事業所数、従業者数及び年間販売額を表 2-6-5 に示す。平成 28 年 2 月現在、事業所数は 288 事業所となっている。

表 2-6-5 商業事業所数、従業員数及び年間販売額の推移

	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間販売額 (百万円)
平成 16 年	474	2,369	49,461
平成 19 年	437	2,358	52,662
平成 23 年	313	1,798	36,233
平成 26 年	294	1,796	42,782
平成 28 年	288	1,969	45,849

※資料：商業統計 調査各年 6 月 1 日現在（平成 23 年除く）

※資料：経済センサス 平成 23 年は平成 24 年 2 月 1 日現在

## 7 交通

本市の交通の状況を図 2-7-1 に示す。

本市の東西を J R 高徳線、四国横断自動車道（高松自動車道）、国道 11 号がほぼ平行する形で通っているが、一般幹線道路はこの国道 11 号しかないため、交通渋滞が慢性的に発生し、これに伴う交通事故也多発している。これらの諸問題を解消するとともに、地域間交流や産業の活性化などを目的として、現在、大内白鳥バイパスが工事中である。

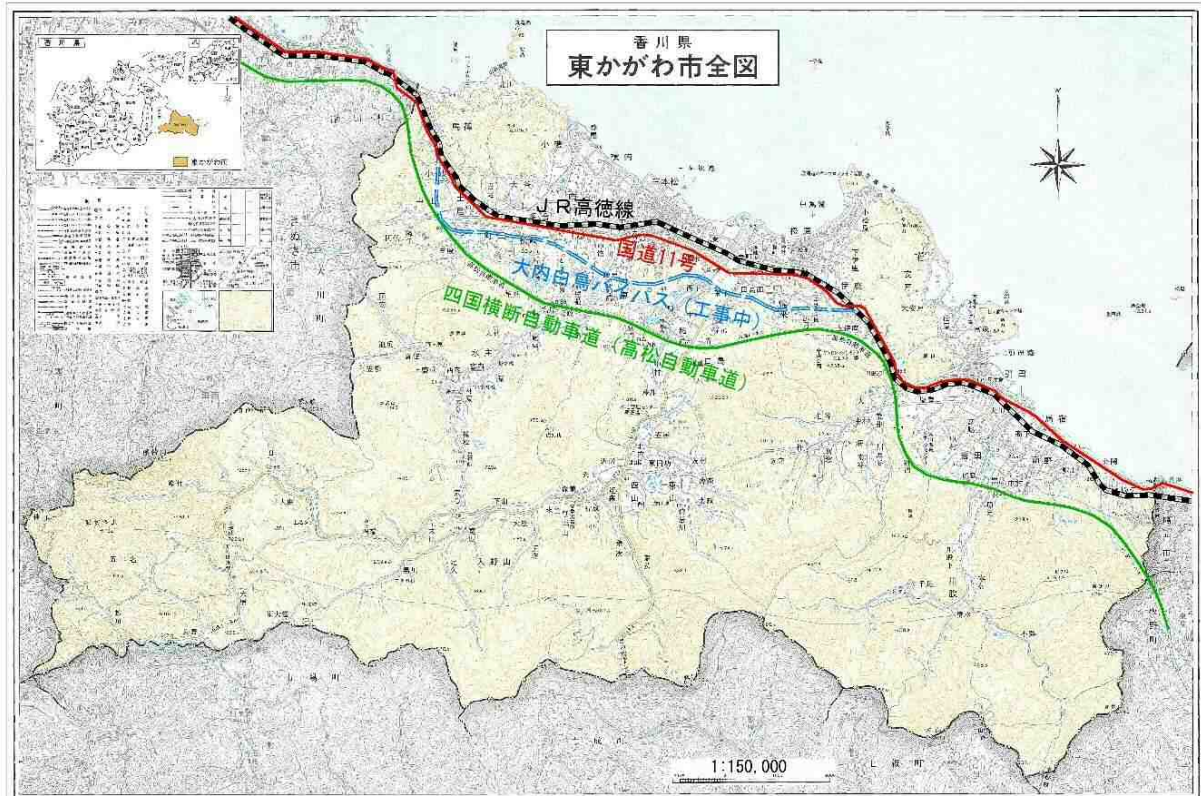


図 2-7-1 交通の状況

## 8 土地利用

### 1) 土地利用状況

本市の土地利用状況（課税の対象にならない土地を除く）を表 2-8-1、図 2-8-1 に示す。平成 30 年 1 月現在、山林の占める割合が最も多く、次いで田、宅地の順となっている。

表 2-8-1 土地利用状況

単位：km<sup>2</sup>

	平成 24 年	平成 30 年
田	15.88	15.53
畑	3.74	3.67
宅地	7.69	7.84
山林	41.59	40.78
原野	0.55	0.50
雑種地	1.50	1.80
その他	0.01	0.01
総面積	71.96	70.12(70.13)

資料：香川県統計年鑑（各年 1 月 1 日現在）

※課税の対象にならない土地を除く

※四捨五入の関係で総面積が一致しない

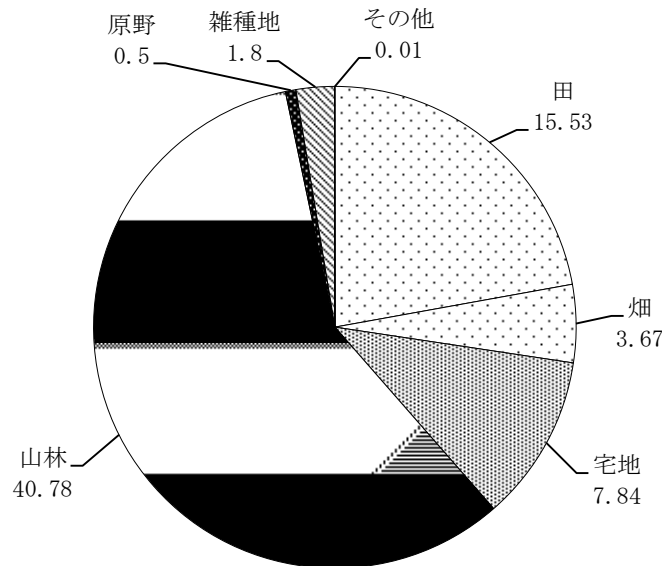


図 2-8-1 平成 30 年土地利用状況

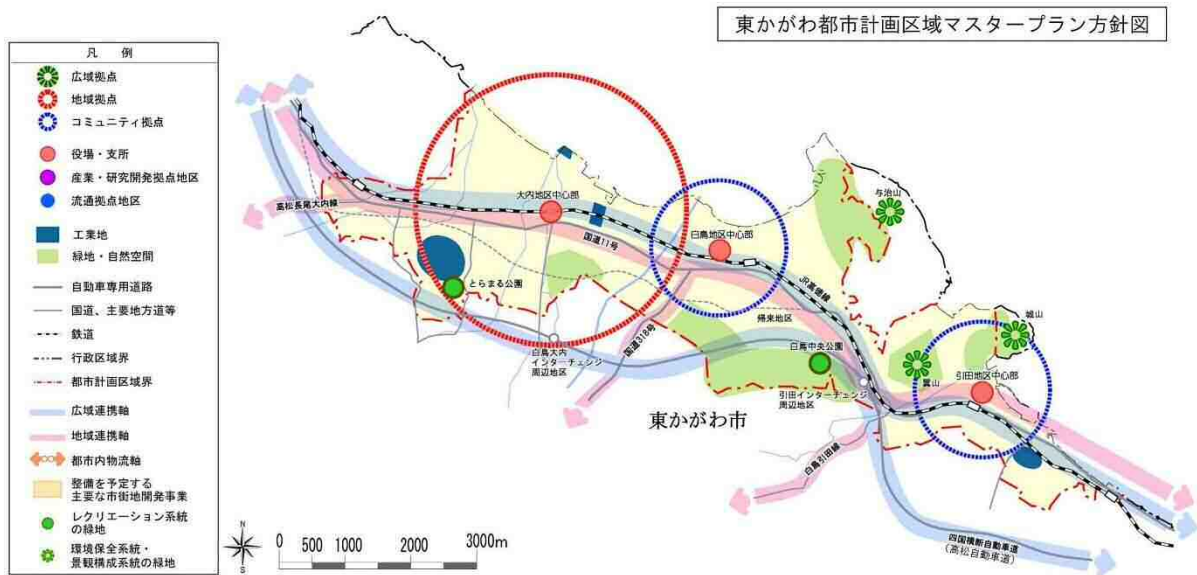
## 2) 都市計画

本市の都市計画区域面積を表 2-8-2 に示す。また、東かがわ都市計画区域マスタープランでは、都市計画区域のゾーン区分を行い、それぞれの特性に即した将来の振興方針を示している。東かがわ都市計画区域マスタープラン方針図を図 2-8-2 に示す。

表 2-8-2 都市計画区域面積

都市計画 区域名	都市名	都市計画区域 (ha)
東かがわ	東かがわ市	2,100

資料：香川県 東かがわ都市計画区域マスタープラン（平成 24 年 10 月現在）



資料：香川県 東かがわ都市計画区域マスタープラン

図 2-8-2 東かがわ都市計画区域マスタープラン方針図

## 9 関連計画（将来計画）

### 1) 東かがわ市基本構想

本市が目指すべき将来像を示し、市民と行政が共有し、力をあわせてこれからの東かがわ市を築いていくため、「東かがわ市基本構想」を策定している。その設定期間は、平成26年度～平成35年度までの10年間となっている。

また、各基本計画は、基本構想との調和を図るものとしている。

<<まちの将来像>>

みんなでつくる  
愛着を持って いつまでも住み続けたい  
自慢のまち 東かがわ

<<まちづくりビジョン>>

#### 〔ビジョン1 いつまでも住み続けたいまち〕

##### 【取組みの基本的な方向】

- (1)生活環境が向上し、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくり
- (2)この地域が多くの人に愛されるまちづくり

##### 【戦略的・重点的な取組み】

- (1)若者定住施策
- (2)子育て施策
- (3)高齢者施策
- (4)地域力の向上

#### 〔ビジョン2 安全・安心のまち〕

##### 【取組みの基本的な方向】

- (1)災害に強いまちづくり
- (2)防災・減災の視点に立ったまちづくり
- (3)「自助・共助・公助」の役割分担を明確にしたまちづくり

##### 【戦略的・重点的な取組み】

- (1)災害対策に関する計画の策定
- (2)防災拠点、避難所、情報伝達体制の整備・確保
- (3)地域コミュニティ組織の編成と防災体制の整備

#### 〔ビジョン3 市民との協働でつくるまち〕

##### 【取組みの基本的な方向】

- (1)参画機会の創出
- (2)地域リーダーの育成
- (3)魅力的でにぎわいのあるまちづくり
- (4)地域活動が活性化する環境整備

##### 【戦略的・重点的な取組み】

- (1)市民の参画機会の創出
- (2)地域リーダーの育成
- (3)魅力的でにぎわいのあるまちづくり
- (4)地域活動が活性化するための環境の整備